

ID LETTER

株主のみなさまへ
第47期 決算のご報告
2014.4.1～2015.3.31

ID INFORMATION DEVELOPMENT



2015年3月期は
「増収・増益・増配」
決算となりました。

従業員1人当たり売上高

2014年3月期

897万3千円

2015年3月期

950万5千円

生産性が向上

従業員1人当たり営業利益

2014年3月期

37万5千円

2015年3月期

48万6千円

業務フローの改善

パートナーの活用と人事制度改革、早期退職制度などの
構造改革等により効率化が図れました。

ROE

2014年3月期

6.5%

2015年3月期

8.1%

資本効率の向上

1株当たり配当金

2014年3月期

24円

2015年3月期

30円

株主還元の増加

売上高

2014年3月期

175億78百万円

2015年3月期

188億68百万円

過去最高の売上

システム運営管理が堅調に推移し、ソフトウェア開発も売上が伸びました。

営業利益

2014年3月期

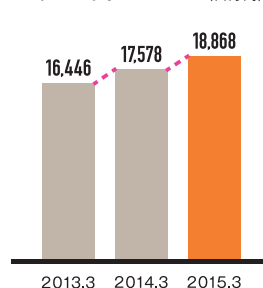
7億35百万円

2015年3月期

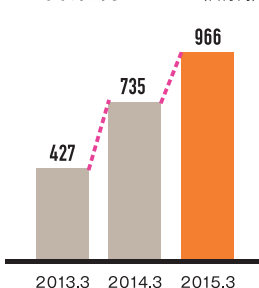
9億66百万円

30%以上の増加

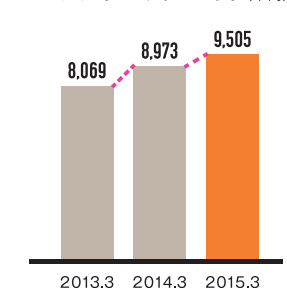
■ 売上高 (百万円)



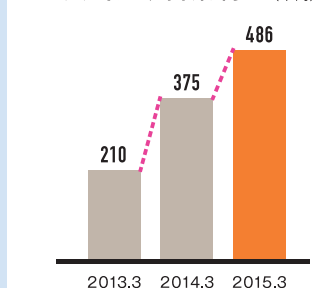
■ 営業利益 (百万円)



■ 1人当たり売上高 (千円)



■ 1人当たり営業利益 (千円)



Q 2015年3月期はいかがでしたか？

情報サービス産業の売上高が対前年同月比で19ヵ月連続増加するなど、事業環境に改善が見られるなか、当社はグループ横断的な営業展開を積極的に行いました。その結果、主要セグメントの運営・開発・コンサルティングすべてが売上、利益ともに上昇しました。2015年3月期は、連結売上高188億68百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は9億66百万円(同31.3%増)、経常利益は9億98百万円(同30.6%増)、当期純利益は5億8百万円(同36.8%増)となり、**大幅な増収増益**となりました。

INNOVATION DRIVEN VISIONARY COMPANY!!

社員とともにワクワクする
未来を切りひらきます！

Q 配当についての考え方は？

株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しています。当期末は、普通配当4円の増配と記念配当2円を実施し、1株当たり30円とさせていただきます。また来期末につきましては、2円の記念配当を普通配当に切り替え、**1株当たり30円**とさせていただく予定です。

Q 今後の課題について教えてください

国内の情報サービス企業の多くが収益改善の傾向にあるなか、クラウド市場の急速な発展、グローバル展開の拡大など当社グループを取り巻く環境は大きく変化しており、迅速かつ柔軟に対応することが求められます。またお客様のニーズに対し、新技術やサービスをグローバルに提案していくためには、引き続き**人材育成**が優先課題と考えています。

代表取締役社長

船越真樹

Q 情報サービス産業業界の見通しについて教えてください

世界経済の見通しは依然として不透明ですが、国内の情報サービス業界に関しては、各種統計調査は引き続き事業環境の改善を予想しています。また当社グループの主要顧客のIT投資は積極化している状況ですので、情報サービス業界の**改善傾向は継続**するのではないかと見ています。

Q 2016年3月期の見通しはいかがですか？

業界の見通しでも述べましたとおり、当社グループの主要顧客の多くはIT投資意欲が高い大手企業です。また、7月1日に予定されている**子会社の吸収合併**によりサービス水準の底上げを図り、営業展開もさらに拡大しようと考えています。2016年3月期には、3ヵ年計画「Breakthrough 200!」を実現すべく、**売上高200億円**(同6.0%増)、営業利益10億40百万円(同7.6%増)、当期純利益5億80百万円(同14.0%増)を計画しています。

Q 3ヵ年計画について教えてください

IDグループは、2018年3月期に連結**売上高235億円、営業利益率8.0%**の達成を目指し、競争力の強化に努めています。重点戦略として①ダイバーシティの推進、②BOO戦略の推進、③クラウドサービスの推進、④グローバル推進、⑤グループ経営の効率化と業務プロセスの改善を軸に取り組んでいます。

※3ヵ年計画の詳細につきましては、3ページからの特集をご覧ください。

Q 3ヵ年計画をどのように達成しますか？

第一にグループの強みを活かし、**BOO戦略を推進**します。とくに主力の金融分野の統合案件はもちろんのこと、電力・ガス分野に関しては自由化を控え、戦略的投資の拡大が見込める分野であり、注力いたします。また、時間外労働削減や不採算プロジェクト撲滅を徹底することにより、売上・利益ともに持続的な成長を実現します。中長期的な施策では、多彩なアイデアを経営に反映するため、**ダイバーシティとグローバル化を推進**します。さらに、クラウドを中心とする需要が見込める技術への積極的なR&Dにより、収益構造の多様化を進め、高収益事業モデルの確立を目指します。

INNOVATION DRIVEN VISIONARY COMPANY!!

>> 3カ年計画の達成に向けて

3カ年計画では2018年3月期に連結売上高235億円、営業利益率8.0%の達成を目標とし、競争力の強化に努めています。

重点戦略として①ダイバーシティの推進、②BOO戦略の推進、③クラウドサービスの推進、

④グローバル推進、⑤グループ経営の効率化と業務プロセスの改善を軸に取り組んでいます。

1 ダイバーシティの推進

当社はダイバーシティ&インクルージョンに取り組んでおり、グローバル戦略を確実に推進していくための人材育成、および人材の多様化を通じて組織の活性化を図っています。

さらに研修・教育制度を通じて、国内外の全社員の主体的な自己成長を促すと同時に、豊かな人間力と高い技術力を持つ「ハイブリッドな人材」の育成に注力しています。

具体策

- > 女性および女性管理職比率などの目標設定
- > 組織活性化のため、バイリンガル社員を積極採用
- > 各種トレーニング、会議、セミナー合宿の実施
- ・2020年 女性比率 50% (2015年3月31日現在 26.5%)
- ・2020年 女性管理職比率 30% (同上 9.7%)
- ・第一子出産後の女性復帰率 75%を維持 (同上 100%)



事例 ダイバーシティセミナー

毎年、当社グループの河口湖ハウスでダイバーシティセミナーを開催しています。2014年6月に開催したセミナーでは、管理職・大学講師・金融機関の役員などを勤められた女性外部講師による講演等を交えながら、ダイバーシティの重要性や目的などを議論しました。セミナー後も自主的ワークショップを通じて、ダイバーシティ&インクルージョンへの理解を深めています。

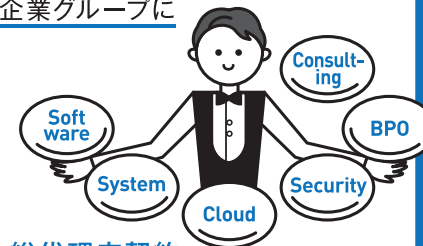


2 BOO戦略の推進

Business Operations Outsourcing (BOO)とは、一つの顧客に対し、コンサルティングからソフトウェア開発、システム運営管理、クラウド・セキュリティ、BPOまで複数のサービスを提供する戦略のことです。日本国内のみならず、海外でも日本と同じ品質のサービス提供に努め、既存マーケットの拡充と新規顧客の開拓を図っています。また、重点戦略であるクラウドサービスとグローバルサービスを融合させ、トータルなITアウトソーシングサービスを提供しています。

具体策

- > 大手金融機関の次期システム案件への参入拡大、海外拠点の需要の開拓
- > 既存顧客1,000社から抽出した戦略先9企業グループに経営資源を集中的に投入
- > 経営資源を共有し、横断的な営業を展開
- > 戦略にあった適切な人材配置



事例 ZeroTurnaround社との国内総代理店契約

2015年2月、米国ボストンを活動拠点とするZeroTurnaround社との国内総代理店契約を締結しました。同社のソリューションは欧米でも最先端のものであり、開発スピードの劇的な短縮によって、お客さまの企業価値向上に貢献します。今回の契約によって、IDグループはこの世界最新のソリューションを、日本のお客さまにはじめてご提供することができるようになりました。

3 クラウドサービスの推進

クラウドサービスは成長分野であり、お客さまのIT投資額に占めるクラウドへの投資比率は増加することが予想されます。また、クラウドの採用にあたりお客さまが注視するのはセキュリティレベルの高さです。当社の*ID-CLOUD*は、コンサルティングや導入支援に加え、きめ細やかな運用と高度な知識による万全なセキュリティ対策が魅力です。独立系である利点を活かして、お客さまのニーズに合わせてカスタマイズした最適なクラウドを提供しておりますが、今後は海外拠点や大手クラウドベンダーとの連携を図ることで、一層のサービス強化を図ります。

具体策

- ＜導入時のコンサルティングからクラウドサービスの運用までをワンストップで提供
- ＜新しいセキュリティ商品、技術の積極的な導入
- ＜海外ネットワークを駆使しグローバルにも対応
- ＜プラットフォーム系開発※業務における要員育成

※ プラットフォーム系開発とは、ハードウェア、OS、ミドルウェアの機能を最適な手段で活用し、低コストかつ信頼性の高いシステム稼働環境を設計・構築することで、これはクラウド環境の設計・構築には欠かせない技術です。



4 グローバル推進

IDグループはグローバル拠点を拡充させており、中国、シンガポール、ミャンマー、アメリカ、イギリスに展開しています。また日系企業のみならず非日系の現地企業とも提携の可能性を模索するなど、海外アライアンスパートナーとの協業や業務提携も推進。お客さまにトータルなITサービスを、グローバルに提供できるよう注力しています。

具体策

- ＜グローバルなサービス拠点網の拡大
- ＜海外拠点および業務提携先との協業推進
- ＜日系のみならず非日系企業とも提携



事例 拡大するIDグループのグローバル展開

2014年12月に当社子会社であるIDシンガポールは、ミャンマーの現地企業であるInfinity Global Solutions社と合弁会社設立について基本合意しました。ミャンマーは民主化以降の著しい経済発展により、今後ITインフラに関する旺盛な需要が見込まれます。この合弁会社を通じてITトレーニングアカデミーを開設、ITインフラ技術者を育成し、同国を中心とする需要増に対応します。また、2015年7月にはインドネシアに子会社を設立する予定です。



東証一部上場

IDは1969年10月に創業し、1998年の店頭登録、2013年の東京証券取引所市場第2部への市場替えを経て、創業から45周年を迎える2014年9月8日に、東京証券取引所市場第1部上場を達成しました。

同日の市場第1部上場のセレモニーには、船越社長をはじめ役員や一部社員が出席。また当社イメージキャラクターのマナちゃんも会場に駆けつけました。上場通知書の授与式のあと、東証内のテレビ局「ストックボイスTV」への出演、記念の打鐘などを行いました。

創業から45年で東証1部上場を達成できたことは、株主のみなさま、お客さま、社員をはじめ多くの関係者の方々のご支援によるものであり、心から感謝致します。公の会社としての責任が増したことを全社員が認識し、これからも全力で業務に取り組んでまいります。



船越社長と一緒に

2013年から始まった「ID子ども参観日」は、2015年の3月に3回目をむかえました。5組のグループ社員親子が参加し、子ども達による自己紹介や名刺交換スタンプラリー、職場見学や社長室での写真撮影などを行いました。

社員のご家族の職場への理解を深めていただくため、今後もこのような取り組みを推進してまいります。



ミッション実践中

グループ経営の効率化と業務プロセスの改善

近年、内部統制の強化やコンプライアンス向上、経営の効率化が求められています。そのため、コンプライアンス規程の遵守を全社員に徹底し、内部統制システムの整備を進めています。また、業務プロセスの改善や意思決定情報の精度向上により、グループ経営の効率化にも取り組んでいます。



具体策

- > 国内子会社の吸収合併
- > 購買管理システムの導入
- > 生産性の向上や、要員の適正配置、時間外勤務管理の厳格化に伴う業務プロセスの見直し

事例 子会社の吸収合併

2015年2月には、連結子会社である株式会社ソフトウェア・ディベロプメントを完全子会社とし、100%子会社である株式会社日本カルチャソフトサービスとともに、7月1日に吸収合併する予定となっています。この吸収合併により、教育制度・品質管理体制の一本化による品質向上、ガバナンス体制の強化、販管費の削減を図ります。

会社情報

2015年6月18日現在

■ 会社概要

商 号 株式会社インフォメーション・ディベロプメント (略称: ID)
INFORMATION DEVELOPMENT CO.,LTD.

本社所在地 〒102-0084
東京都千代田区二番町7番地5 二番町平和ビル
TEL.03-3264-3571 (代表) FAX.03-3264-3618

創 立 1969年 (昭和44年) 10月20日

資 本 金 5億9,234万円

社 員 数 1,486名 (単体、2015年3月31日現在)

■ 国内・海外ネットワーク

連結子会社

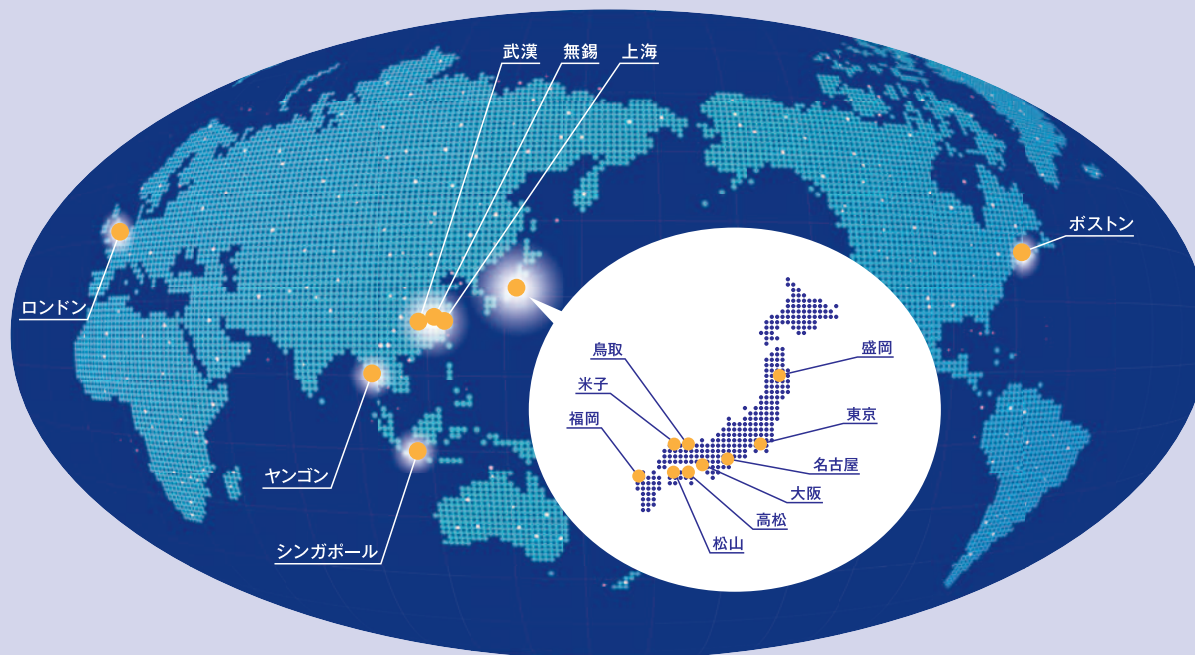
- 株式会社日本カルチャソフトサービス (略称: CS)
資本金: 9,000万円 ID出資比率: 100%
- 株式会社ソフトウェア・ディベロプメント (略称: SD)
資本金: 1億円 ID出資比率: 100%
- 株式会社ブライド
資本金: 4,000万円 ID出資比率: 85.9%
※出資比率は自己株式を控除して計算しております。
- 艾迪系統開発 (武漢) 有限公司 (略称: ID武漢)
資本金: 110万米ドル ID出資比率: 100%
- INFORMATION DEVELOPMENT SINGAPORE PTE. LTD. (略称: IDシンガポール)
資本金: 267万シンガポールドル ID出資比率: 100%
- INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC. (略称: IDアメリカ)
資本金: 550万米ドル ID出資比率: 100%
- 愛ファクトリー株式会社
資本金: 5,000万円 ID出資比率: 100%

※IDは(株)日本カルチャソフトサービスと(株)ソフトウェア・ディベロプメントを
2015年7月1日に吸収合併する予定です。

■ 役 員

代表取締役社長	船越 真樹	常務執行役員	山内 佳代
代表取締役副社長	山川 利雄	常務執行役員	南 耕治
取締役兼専務執行役員	小池 昭彦	執行役員	倉重 恵造
取締役兼常務執行役員	七尾 静也	執行役員	加藤 剛
取締役 (社外)	杉浦 章介 (慶應義塾大学名誉教授)	執行役員	上拾石 直樹
取締役 (社外)	林 慶治郎	執行役員	木村 由美子
常勤監査役	寺門 常信	執行役員	松浦 繁則
監査役 (非常勤)	岡崎 正憲 (公認会計士)	執行役員	土谷 明
監査役 (非常勤)	増田 裕明	執行役員	坂本 康
監査役 (非常勤)	日向 研	執行役員	西川 和彦
	(みずほトラストオペレーションズ 株式会社 取締役社長)	執行役員	榮 英司

※ 取締役 杉浦章介、林慶治郎は社外取締役です。
※ 監査役 岡崎正憲、増田裕明、日向研は、社外監査役です。

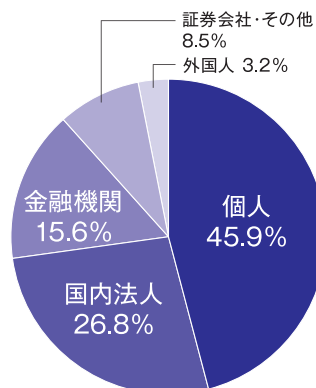


2015年3月31日現在

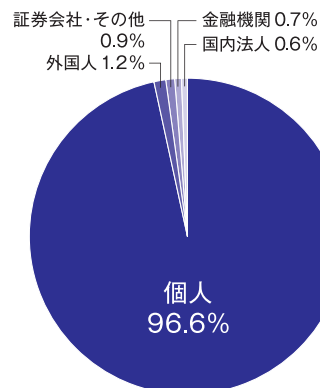
■ 株式情報

発行可能株式総数 24,000,000株
発行済株式総数 8,029,535株
株主総数 3,010名

■ 株式数別構成



■ 株主数別構成



■ 大株主の状況

株主名	持株比率(%)
有限会社エイ・ケイ	8.7
株式会社みずほトラストシステムズ	8.5
株式会社インフォメーション・ディベロプメント	7.1
ID従業員持株会	5.8
みずほ信託銀行株式会社	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3.5
株式会社ケイ・シー・エス	3.5
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	3.3
TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社	2.4
船越朱美	1.6

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当を行うときの中間配当金	9月30日
公告の方法	当社ホームページ上の電子公告により行います。 http://www.idnet.co.jp ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
郵送物送付	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	
および	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	
お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル)	
単元株式数	100株	
証券コード	4709(東京証券取引所 市場第一部)	

株式会社 **インフォメーション・ディベロプメント**
〒102-0084 東京都千代田区二番町7番地5 二番町平和ビル
TEL.03-3264-3571(代表) IRお問い合わせ先: 社長室 TEL.03-3262-5177

IDに関するより詳しい情報はこちらへ

>>> <http://www.idnet.co.jp>



JQA-QM7617
SIS-1第2部
SIS-1第3部
SIS-2第1部
SIS-2第2部
DMS-1第1部



EC99J1084
DMS-2第1部



JQA-IM0433
DMS-1第3部

